

中小企業の海外展開を強力にバックアップする「広域首都圏輸出品技術支援センター(MTEP)」。ここではMTEPの専門相談員が、よくある質問やサポート内容、海外展開のコツをご紹介します。

経験がものを言うことも多い国際規格 まずは一緒に取り組みながら、 ノウハウも学んで欲しい

もり きよし 相談員
森 浄

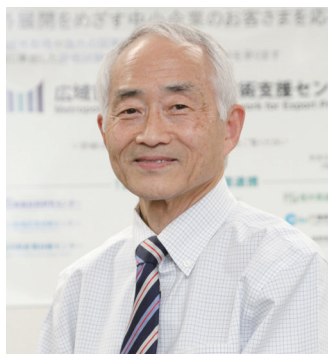
月曜日担当
専門：EMC、電気安全、CEマーキング、
EMC指令

初めて製品輸出を考える皆さんにとって、国際規格は敷居の高い世界であり、MTEPはいわばそのための「駆け込み寺」のようなもの。私も長年医療機器メーカーでEMC規制に関わりましたが、最初は大変苦労しました。先輩からは「勉強してこい」なんて言われましたが、英文の仕様書のどこが重要か、規格ある内容と一致させるために製品の何を見ればいいのかというのは、実は経験者でなければ分からない部分も多いんです。ですから勉強不足だなどと思わずに、まずは一度、我々にご相談いただいて、一緒に対策を考えていく中から方法やノウハウも学んでもらえればと思いますね。

私が担当するEMC(電磁環境両立性)は、今はスマホやハイブリッドカーなどの「中身はほとんどコンピュータそのもの」という製品が社会の根幹に急速に入り込んでいますから、その適用範囲や要求は、飛躍的に広く厳しくなってきました。また、私が長年携わってきた医療機器分野

も、在宅医療や救急車での手術、介護ロボットなど新しい概念が次々出てきますので、車両やインフラの規格と複合的に考えたり、想定される要求水準よりかなり高いレベルの目標設定で対応することも必須になってきています。こうした動きに対処するには、まずは情報が大切ですから、日頃から展示会や専門家からの情報収集を行い、常に最新の情報でご相談に臨むようにしています。

また相談では、メーカー時代の経験を生かして、開発者の目線で体験談などもお話ししながら、より現場に近い目線での対応を心がけています。MTEPは、ペーパーワークだけの相談と違い、現物や回路図などを見ながら、私たち相談員が開発者として現役時代にやってきたことと同じ相談環境が実現していますし、試験も都産技研で非常に安価に行えるので、現場と直接つながっているような、理想の相談環境ではないかと思えます。



森 浄(もり きよし) プロフィール
オリンパス(株)品質環境保証本部 試験評価・電気安全EMCセンターを経て、現在EMCテクノロジーを開設。傍ら、日本医療機器関係団体協議会、電子情報技術産業協会(JEITA)、総務省 電気通信審議会、経済産業省標準化JIS作成分科会でIEC規格の国内化の委員として活躍。企業に対し、国内海外の安全、EMC技術規制対応の支援活動を行っている。

▶ 事例紹介

自動車の走行計測システムを開発、製造しているメーカーのA社から、「欧州市場に販売したいが、どのような規制をクリアすればよいか」との相談を持ちかけられました。

相談から規制クリアまでの経緯

- 平成25年2月 自動車に搭載しテストコースで走行計測をするシステムだが、欧州の規制をクリアするにはどのようなステップがあるかとの相談で来所。
- 平成25年3月 ISO/IEC17025の試験所認定を取得した都産技研多摩テクノプラザのEMCサイトでEMC指令に対応した適合試験を実施。
- 平成25年6月 欧州指令で要求される技術文書を作成支援し、製品を欧州に上市。

【中小企業の皆さんへ】

MTEPに初めて相談に来られる方は、「輸出を考えていて、国際規格対応を任せられたが、自分一人では何をしたら良いかわからない」という方がほとんどです。そこで、例えば、一緒にスペクトルアナライザーで製品のノイズを探したり、CEマーキング取得についても、一連の流れから具体的な技術文書の、ファイルづくりまでを実践的に指導しています。ですから、国際規格に対応するための技術相談から必要な適合試験の紹介、技術文書の作成まで、ほとんど全般にわたって、一つのプロジェクトの中でEMCの専門家にアドバイスをもらえるので、とても身近にご相談いただけるかと思えます。国際規制は、設計段階から対策していかなければいけない部分もありますので、早すぎるということはありません。ぜひ製品開発段階からのご相談をお待ちしています。

